

震災前のようにたくさんの桜が咲くまちをつくる

代表者名：会長 遠藤 定治
副会長 加納 純一郎
活動開始年月：2011年3月末

[まち活フォーラム2018にて作成]

女川桜守りの会

初めの一步



桜咲く地蔵



津波桜



清水桜公園整備



《きっかけ》

3.11 津波で幹だけ残った旧第二保育所庭の桜に芽がつき開花したのを発見し、その保存のために活動を開始。

《活動の魅力》

桜は見頃になるのにあと20年以上、そして樹齢は100年を超えます。今の私たちの想いが100年後の人々に伝わる楽しみがあります。

《仲間》

全国からの支援をいただいています。無理せず、時間のある人で活動を行いつつ、何かの時は全町民に呼びかけます。

《期待》

町の花、桜を復活させ、再び桜であられる街を取り戻したい。

線路脇植樹



《今後の課題》

桜の手入れ（病害虫の予防、適宜の剪定、雑草やツタ類の除草など）を行ってくれる人材の確保。桜守りの会の次代を担ってくれる人の確保。

コミュニティガーデンからはじめる 女川らしい風景を“みんな”で創る

代表世話人：木村 繁子
活動開始年月：2017年 5月

[まち活フォーラム2018にて作成]

あ～らだての小みち

まずは学び



《きっかけ》
平成28年度の「緑のまち活」に参加し、視察研修や実践講座などで植物の育て方を学びガーデニングが楽しくなり、自宅近くの荒立東地区公園を地域の人達でコミュニティガーデンをつかった事で活動が始まりました。

学びの森から
花壇の木枠を



ガーデンづくり



《活動のPR》
定期的に行う公園ガーデンのお手入れ会の時にハーブを使った料理や皆で持ち寄ったものでお楽しみタイムをしています。11月に枝垂桜を植樹したので春にお花見を予定しています。

《活動を続ける秘訣》
お互いのペースを尊重し無理せず、皆で色々なアイデアやスキルをわかちあえ、楽しめることです。ハーブガーデンを見学したり視野が広がります。“来るものは拒まず、去る者は追わず、戻るものには暖かく”です。

ハーブで料理づくり



《町への期待》
新たな宅地で地域の人達とお付き合いが始まるので、子供達や皆さん散歩がてら、あ～らだての小みち公園を楽しんでもらえたら嬉しいです。各地域の公園でもコミュニティガーデンをつくり広まることを期待します。

公園で休憩する人も！



《今後の課題》
鹿対策です。荒立東地区にも鹿が現れ、他の地区でも自宅の庭が鹿の被害を受けて、心が折れそうになったと聞きました。鹿が嫌う馬酔木（あせび）を植えたり、人感センサー設置も考えています



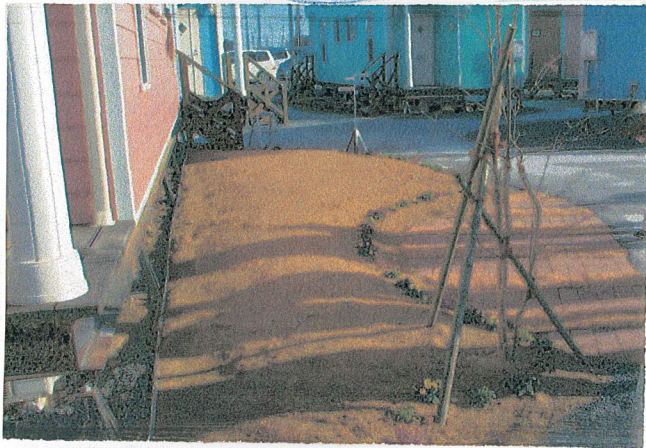
ELFARO

HERB GARDEN

フ？ミ？ア？

このガーデン=関わりは皆「目」が「家族」のようなつながりを
もてるような名前にはした。

〇代表〇 佐々木里子
〇START〇 H29.12.15~



活動をはじめたきっかけ

お花やハーブなどの植物がどなたに
心を豊かにし、優しい気持ちを生み出すか..
子どもから..そして若い方からお年寄りまで
気付いて欲しいと思っています。

魅カ・PR

お花やハーブは、ただ生え終わり、ではありません。
香りはもちろん、自分で採り、食べて飲んで採り、
作って採り... そういった交流の場から地域の関わり、
人々の関わりができます。もっと女川が好きになる♡
女川を大切にできる！仕事や子育てをしながら

ガーデンのイメージをスケッチし、
グループ発表をしたら月
浮き玉やホリテを飾りますよ



とて植物を通じて人と
交流したい!!

女川で活動する想い まちづくりへの期待

女川=海の手ちという事以外にも、町に入ったその時から
歓迎、さかしているような自でも楽しめるお花とみどり、あふれる
町にしたい。一度は灰色になった町...海の色と自然の色...
植物の持つパワーで人々の心に色をつけていきたい!!

ハーブティーや
ハーブチキンも
Tのレシピです



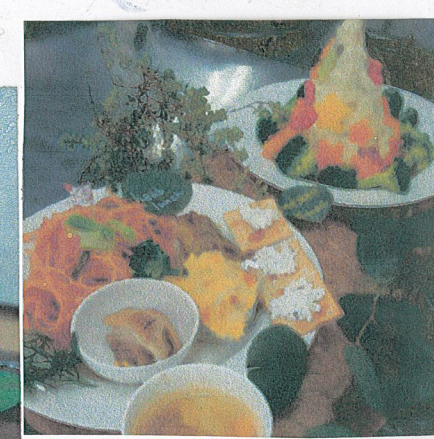
活動力をつづける秘訣・仲間について

まちから、を通じて人とつながりがとても
充実しています。知らないだけで..伝えてない
だけで、女川には様々な知識を持っている人が
たくさんいます。私にとっては皆さん
人生の先生です! 町民の知恵を
隠さずにはもたないです。
もっと町民が活躍できる場を作
ると、もっと人と人がつながる..
と考えます。



今困っていること・今後の課題

ハーブガーデンや町に花を! といっても、管理や維持費が必要です。
ボランティアを募るのも1つの手ですが、例えは、学校・保育
行事のついでに、町民の意識を
変える(町をきれい!)よう進めたい。
自分の住む町にも、興味をもち、
誇りをもてるような、意識改革



魚だけじゃない!
女川の食育😊
女川クラフトハーブのクラフト
クリスマスメニューを
子どもたちと...

地域のコミュニティづくりや居場所づくりのためのカフェ 大原北区「ふれあいカフェ」

代表者名：鈴木 浩（区長）
活動開始年月：2016年4月1日
[まち活フォーラム2018にて作成]



《きっかけ》
社会福祉協議会がカフェを始めて、1年後に続けるかどうか検討した際、傾聴ボランティアでカフェに行く機会があり慣れている事や、お客様からの要望が多いことから、引き継ぐ決心をしました。

《活動の魅力》
住民との関わりが増えた。情報も集まって来るため、役に立つことが多い。外部の方でも気軽に立ち寄れる。



《町への期待》
新しい住居に移り、外出がなかなか思うように出来ない高齢者が多いようです。他の集合住宅にも「カフェ」のような場所があれば良いのではないかと考えています



《活動を続ける秘訣》
続ける秘訣は「無理をしない！！」
体調が悪いときはもちろん、用事がある時等は交代してもらう。



《今後の課題》
お客さんの高齢化、認知症、健忘症…etc
若い人たちにもカフェを利用してもらえようとする事。

女川町子育て応援サークル マザーズリング

代表者名：澤田 洋美

活動開始年月：2010年

[まち活フォーラム 2018 にて作成]

《きっかけ》

自分が子育てをしているときに、女川町子育て支援サークルマザーズリングさんの活動にとっても助けられ、子育てを楽しむことができました。その恩返しをしたいと思い引き継ぎました。



別室託児付
ヨガレッスン

保育所お着替え箱
いちご箱カバーリング講習会



ハンドメイド教室など



《活動の魅力》

メンバーはもちろん、色々な年代のママ、また女川町外老若男女問わず、興味のある方ならどなたでも参加でき、協力できます。

《継続の秘訣》

メンバーそれぞれが自分の楽しみとなるよう、メンバーの気持ちを最優先にする。それぞれが自分のやりたいこと、協力したいことだけに参加し、その範囲で活動可能なものに内容を絞り、その都度検討し直して企画する。無理をしない。LINEグループで、参加のとりまとめ・情報共有・話し合いなどをする！

《期待》

女川でのママ達の子育てが少しでも楽になるように、楽しくなるように応援し合える気持ちを大切にしたい。無理せず、楽しく、頑張らず?!がモットー。サークル活動がまちづくりになるなら、役場の方誰でも温かく応援する気持ちで、スムーズな対応をしてもらえると嬉しい！

《今後の課題》

- 自分自身がサークル活動をする余裕がなくなってきた。
- なかなか参加できない・協力できないメンバーが申し訳ないと思わず、メンバーみんながいつでも入っていて楽しい・よかったと思えるようにしたい。
- 女川町それぞれの子育て支援の連携
- 誰でも気軽に相談・要望（まちづくり・サークル活動・子育て支援についてなど）を出すことができ、受け入れてくれ、よりよく改善してくれる窓口

冬の女川駅前をイルミネーションで照らす

代表世話人：中嶋 憲治
活動開始年月：1998年10月

[まち活フォーラム2018にて作成]

スターダスト・ページェント「海ぼたる」

震災後の海ぼたる

《きっかけ》
終着駅の女川を暖かな光で灯すことで、町民や帰郷する人たちの心を温めることが出来ればと思い、始めました

《活動の魅力》

- ・ 灯りを見に来た人たちの笑顔と感謝の言葉
- ・ 灯りが点いた時の達成感
- ・ 年齢を超えたコミュニケーション

震災前の海ぼたる

《想い》
募金をいただいた方々への感謝の気持ちと、一緒に「海ぼたる」を作り続けた仲間への想い。

《活動を続ける秘訣》

- ・ 自己満足
- ・ 笑顔がある
- ・ 話を聞く
- ・ 遠慮しない

《今後の課題》

- ・ 電球ツリーや保管場所の確保
- ・ 活動の継承